

懐かしいふるさとの味

かまぶたのついたち

「釜蓋朔日」

～松浦町生きがいサロン

「釜の蓋まんじゅう作り」～

7月25日、毎年恒例の「釜の蓋まんじゅう作り」が行われました。
30名近くのメンバーが集まり、皆さん、慣れた手つきで丸めた餡を皮に包み、湯気の立つ鍋でふっくらと蒸かしました。

「釜の蓋まんじゅう」は那須地方だけに伝わる古くからの風習。8月1日にあの世の釜の蓋が開き、ご先祖様がお盆に向けて歩き出すといわれています。今年もご先祖様を迎えるために、皆さんでたくさんの炭酸まんじゅうを作りました。出来上がりは 最高！お店で売れるのでは？というほどの素晴らしい出来栄でした！

松浦町に生きがいサロンができてから今年で10年目。この日も公民館の中は明るい声があふれ、終始 楽しい雰囲気でした。



那須塩原市社会福祉協議会

